

病気のサインを🩺 見逃さないために ～健康に過ごすための身近な方法～



日程
会場

2019年3月31日(日)
13:30開演 16:00終了(予定)

ペリエホール(千葉県千葉市中央区新千葉1-1-1)

250名様
入場無料
事前応募制

プログラム

第1部 講演

「知っておきたい身近な病気のサイン」

講師 ● 生坂 政臣 先生 (千葉大学付属病院 総合診療科 科長)



いくさか まさおみ
生坂 政臣 先生 (千葉大学付属病院 総合診療科 科長)

1985年鳥取大学医学部卒。1989年東京女子医科大学修了。1990年米国アイオワ大学に臨床留学しfamily medicineを学ぶ。家庭医療学専門医の資格を取得後に帰国。東京女子医科大学内科助手、聖マリアンナ大総合診療内科講師を経て、2002年に埼玉県で家庭医として地域医療に従事しつつ、研修医と学生の診療所教育を手掛ける。その後、千葉大学総合診療部の教授候補者にノミネートされ、2003年から現職。2014年に千葉大学病院副院長に就任。
「患者の訴えから臓器の枠組みを超えて診断していく」総合診療を實踐し、診療科を特定できない全国からの紹介患者の受け皿として病院内での地位を確立する。教室開設10年を節目に、文科省未来医療研究人材養成拠点事業として総合診療医育成に着手。
著書は見逃し症例に学ぶ日常診療のヒント(医学書院)、外来診断の達人(医事新報社)など。役員は、日本内科学会評議員、日本内科学会専門部会幹事など。

第2部 講演

「お薬を飲むときにも必要な臨床検査値 ～有効で安全な薬物治療のために～」

講師 ● 石井 伊都子 先生 (千葉大学付属病院 薬剤部 部長)



いしい いっこ
石井 伊都子 先生 (千葉大学付属病院 薬剤部 部長)

1988年 千葉大学薬学部卒業後同大学にて助手
1999年 米国NIHに留学
2003年 千葉大学大学院薬学研究院准教授
2012年より現職
2016年より副院長に就任
日本薬学会や日本病院薬剤師会の理事を務める。細胞生物学を基盤とした病態解析や薬物作用機序の研究を行っている。また、薬学部生から卒業教育まで一貫した薬剤師教育の構築を目標とし基礎薬学と臨床薬学の融合を進めている。千葉大学病院として院外処方箋に臨床検査値を表記し、地域の保険薬局と連携して患者に安心で安全な薬物治療の提供することを推進している。

第3部 パネル ディスカッション

「病気のサインを見逃さないために ～健康に過ごすための身近な方法～」

パネリスト ● 生坂 政臣 先生 (千葉大学付属病院 総合診療科 科長)

石井 伊都子 先生 (千葉大学付属病院 薬剤部 部長)

浅香 唯 氏 (女優・タレント)

司会 ● 上柳 昌彦 (アナウンサー)



お申込み方法

参加ご希望の方は、必要事項をご記入の上、「医療セミナー」係までハガキ・FAX、もしくはニッポン放送イベントホームページ内のエントリーフォームよりお申込みください。

FAX 03-3287-7496

ホームページ エントリーフォーム <http://event.1242.com/>
(ニッポン放送イベントホームページ)

締切日
3月15日(金)
必着

お問い合わせ

ニッポン放送 メディアプロデュース部
「医療セミナー」係

〒100-8439 東京都千代田区有楽町1-9-3
TEL:03-3287-1111 (平日 10:00~17:00)

1枚につき3名まで申込可能です。参加される方のお名前を人数分明記してください。

①郵便番号・住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号 ⑤一緒に参加する方の氏名 ⑥セミナーで質問したいこと(任意)

※応募者多数の場合は抽選とし、受講券の発送をもって当選の発表に代えさせていただきます。

※応募者の個人情報は、受講券の発送と運営事務局からの連絡のみに使用いたします。